

# 「チャンスメーカー」

2019年度 政策室  
副理事長 安楽城 大作

私たちの活動に求められることは、まちの発展の一助となる、より多くのチャンスを生み出すことだと考える。チャンスを生み出すためには、機に応じて柔軟な姿勢で臨まなければならない。

まちの魅力の創造は一夜にしてならず。先人たちから脈々と継承され、時に時代に合わせた変化を伴いながら紡ぎ出された尾道の文化。今いる私たちが未来に向けてより魅力あるものにするために、まちの内外含めたより多くの方とのコミュニケーションを通してニーズを把握し、新たなかたちを模索し、次代に継承していく。そのすべての活動に、粘り強い姿勢で取り組む必要がある。

一方、教育という視点で私たちの活動に求められるのはよりアクティブな姿勢だろう。限りない可能性に満ちた子供たちが、その可能性を実にするべく、限りある時間の中でより多くの経験を積む。そのために私たち大人が様々なチャンスを幅広く、アクティブに発信していく必要がある。幸い尾道JCには先輩たちが築きあげてくれた様々な教育事業の形がある。それを今一度見つめ直し、より広い形で、様々な可能性にアプローチできる活動を模索していく。

私たちを育ててくれた尾道が、未来に向けて、今にも増して明るく豊かなまちになるために。粘り強く出塁し、走ってチャンスを広げる。そんなチャンスメーカー的な役割を全うする活動を行っていきたい。